

労働安全衛生

基本的な考え方

アンリツは、企業行動憲章で「従業員の尊重」を掲げています。社員一人ひとりが、その資質を最大限に発揮できるように、社員の安全と健康を確保し、快適で働きやすい職場づくりを進めていくことが重要と考えています。

安全衛生・健康管理体制

国内アンリツグループでは、労働安全衛生法に基づく安全衛生管理体制を確立しています。また、アンリツ(株)健康管理室に所属する産業医、産業カウンセラーを中心とする産業保健スタッフが、グループ社員の健康確保に向けた支援活動を行っています。

また、国内アンリツグループでは、長時間労働に伴う健康障害発生防止を主眼に、2014年度実績を踏まえた時間外労働の削減、深夜時間帯勤務の極小化、定時退社日運用の徹底などの全社共通マネジメント方針に基づく労働時間適正化施策を継続的に進めています。

安全衛生・健康管理の主な取り組み

- 安全衛生委員会での活動状況の確認や災害防止策の立案
- 機械設備の導入・移動・変更時および化学物質購入時の事前審査による災害リスク低減
- 階層別教育やリスクアセスメントなどの目的別研修を通じた安全衛生意識の高揚
- 作業環境測定や職場巡視による安全・安心で快適な職場づくり
- 健康診断(定期、特殊、雇入時、海外派遣者)の実施とフォローアップ
- 長時間残業者の問診票によるスクリーニングと産業医面談および健康確保措置の実施
- 生活習慣病予防や感染症対策を目的とする産業医講演会などの健康啓発活動
- メンタルヘルスケアを目的とする幹部層向け教育
- カウンセリング



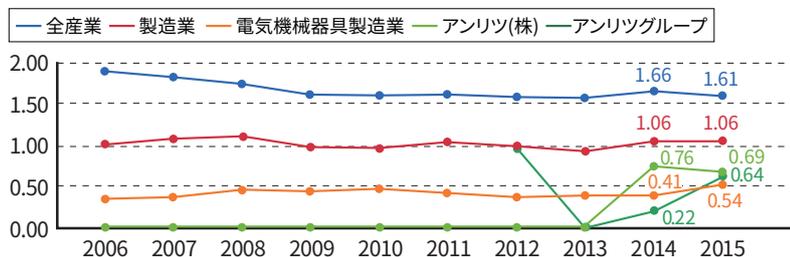
安全衛生委員会

労働災害・通勤途上災害発生状況

国内アンリツグループでは、災害発生「ゼロ」を目標に安全衛生活動を進めていますが、短期間の休業ではあるものの、構内移動中のつまずき・転倒などの事象による休業災害が発生しており、休業災害「ゼロ」の目標は実現できませんでした。2016年度は改めて国内グループ全体での休業災害「ゼロ」を目指します。

2015年度の国内アンリツグループの通勤途上災害は7件と2014年度から5件の減少となりました。また、休業を伴う災害についても前年度から3件の減少となっています。災害件数は減少しているものの、2015年度の通勤途上災害の全件が二輪車利用中の事故であり、二輪車通勤者の安全意識の高揚が継続的な課題と認識しています。2015年度は、厚木警察署のご協力のもと、自転車を中心とした「交通安全研修会」、コンピュータグラフィックスによる運転走行画像を活用した「交通KY(危険予知)研修会」を実施したほか、バイク通勤者向けの「二輪車安全運転講習会」を新たに実施しました。2016年度も通勤途上災害の発生防止に向け一層の啓発活動に取り組みます。

▶ 労働災害度率数率推移(100万時間当たり)



※ 全産業、製造業、電気機械器具製造業は休業4日以上の度数率、アンリツ(株)は、休業1日以上の度数率

▶ 労働災害発生推移

		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
アンリツ(株)	休業	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
	不休	0	1	1	0
国内グループ	休業	4 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
	不休	4	5	3	8

()は死亡者数



交通KY(危険予知)研修会



二輪車安全運転講習会

健康管理

国内グループ社員の定期健康診断における有所見率は、全国的な統計と同様に年々上昇傾向にあります。

2015年度は、前年度の健診データの分析結果を踏まえ、検査項目に若年層に対する採血検査など法定外検査項目の一部追加を行い、生活習慣の早期改善のきっかけにつながるような取り組みを行うとともに、保健スタッフによる個別の保健指導とともに、産業医による健康講演会・メンタルヘルス研修会の開催、外部講師による健康教室の開催などの健康啓発・健康づくり活動を進めてきました。2016年度は、これまでの取り組みにあわせて、ストレスチェック制度の運用を国内グループ会社全社統一で実施し、社員の心身両面からの健康保持・増進につなげていきます。



健康教室

TOPICS

海外トピック(OHSAS 18001の認証取得)

Anritsu EMEA Ltd. (英国)は2012年5月、労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格であるOHSAS 18001:2007の認証を取得し、2015年5月に更新しました。この規格は以下の事項を支援する枠組みを規定することにより、安全で健康的な職場環境づくりを推進しています。

- 健康と安全に関するリスク識別と管理
- 事故が発生する可能性を低減
- 法令遵守の補助
- 全体のパフォーマンス向上



自転車通勤の促進

Anritsu Company (米国)では、「全国自転車月間(National Bike Month)」の一環としてサンフランシスコ・ベイエリアで行われる「自転車通勤の日(Bike to Work Day)」を推進しています。車で通勤する代わりに、自転車で通勤をすることで、環境負荷を軽減するだけでなく、社員の健康増進にも貢献しています。



「自転車通勤の日」に参加した社員



「ヘルス・ウィーク」を設定

Anritsu EMEA Ltd. (英国)は、社員の健康増進を目的に「ヘルス・ウィーク」の期間を設けています。この期間を通じて、社員のウォーキングやランニングなどの活動や、地域自治体の健康管理活動への参加を促し、社員の健康管理意識の向上に努めています。



ヘルス・ウィーク